

# 風力発電に関連する映画の自主上映会への援助のご提案

JWPA ウィンドデイ WG 3月7日

対象： ウィンドデイ行事\*の主催者（原則はJWPA 会員企業）

\*世界風力会議（GWEC）と欧州風力協会（WindEurope）が2007年から始めた風力発電を広報する世界的なお祭り。本来は6月15日だが、日本では5~9月に拡大して開催。

内容： これまでの行事内容（風車見学、風車へのペイント、工作教室、出前授業、他）のメニューに、新たに風力発電関係の映画の自主上映を追加する。

上映関連の費用は、JWPA 補助対象（10万円/件以下）とする。

なお実施時の依頼先（映画の配給元）との交渉は行事主催者が行う（JWPA は関与せず）。

JWPA は候補作の紹介と金銭補助で支援する。

## 1. 風をつかまえた少年（2019年マラウイ、113分）

紹介サイト：<https://longride.jp/kaze/>

内容：アフリカの小国マラウイの少年が、周りに何も無い中、自力で発電用風車を作り、ポンプで井戸水を汲み上げて畑を灌漑して、乾期の飢饉と貧困から家族を救った実話。

依頼先：〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 3-21-21

カウンターポイント株式会社 佐内弘人氏

TEL：03-5314-9031、E-mail：sanai@counter-pt.com

URL：<https://www.counter-pt.com/>

料金の目安：約160円/人（税抜）（例：500人なら8万円）

媒体：ブルーレイ、もしくはDCP



## 2. 明りを灯す人（2010年キルギス他、80分）

紹介サイト：<http://www.bitters.co.jp/akari/>

内容：心にも明りを——名もなき電気工の物語。

天山山脈のふもとの小さな村の素朴な電気屋さん。

彼の夢は風車を一杯作って村中に電力を配ることだった。

村に都会から大規模な風力開発の話が持ち込まれ、

価値観の違う利権目的の人たちに翻弄される。

内容は娯楽性より社会性が強い。「北の国から」と似た感じです。

依頼先：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3丁目 26-10 ネクスト渋谷 2F

ビターズ・エンド社 Tel: 03-5774-0210

料金の料金：10万円（税抜）



明りを灯す人

アクタン・アリム・クハト監督（『あの娘と自転車に乗って』『旅立ちの汽笛』）最新作!!

### 3. おだやかな革命 (2018年日本、100分)

紹介サイト：<http://odayaka-kakumei.com/>

内容：秋田、福島、岐阜、岡山の自然エネルギー発電での地域再生を描いたドキュメンタリー映画。経済性とは別の豊かさの価値観を示す。



自然エネルギーによる地域再生。これからの時代の「豊かさ」を巡る物語。

申込方法：<http://odayaka-kakumei.com/jyoei-mosikomi/>

依頼先：〒997-0826 山形県鶴岡市美原町 2-27 B-308 号室

映画「おだやかな革命」事務局 有限責任事業組合いでは堂 佐藤氏

TEL/FAX：0235-24-8387 E-Mail: info@odayaka-kakumei.com

料金の目安：5～10万円（100名以上は+500円/人）（税抜）

### 4. 日本と再生 光と風のギガワット作戦 (2019年日本、100分)

紹介サイト：

<http://www.nihontogenpatsu.com/story-comment>

内容：世界と日本の再生可能エネルギーの現場を監督の河合弘之氏と飯田哲也氏が訪問して、現実的な解決策になっている様子を説得的に示す。前二作に比べて反原発色は薄い。辛口で有名な「超映画批評」が75点の高得点をつけた。

申込方法：3週間前までに申込書式を提出する。

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1丁目 1番 7号

日比谷 U-1 ビル 16階 さくら共同法律事務所内『Kプロジェクト』上映申込受付係

電話：03-5511-4427、FAX:03-5511-4411 E-Mail: eiga@nihontogenpatsu.com

<http://www.nihontogenpatsu.com/news/iishujoei.html>

料金の目安：5万円（149席まで）、8万円（150席以上）（税抜）



### 5. ダムキーパー (アニメーション、2013年アメリカ、18分)

紹介サイト：<http://www.tonkohouse.com/jp/projects/the-dam-keeper-short-film/>

内容：汚れた大気から風車で、人知れず街を守る内気な少年（ブタ）の友情、誤解、いじめ、和解が描かれる。作者のロバート・コンドウと堤大介はピクサー出身のアニメーター。



依頼先：トンコハウス 料金は照会中。